



五中だより

令和6年5月1日
小平市立小平第五中学校
校長 伊藤 克行
小平市小川町1-798

中学校の副校長になって

副校長 木村 一史

新年度が始まって、1か月が経ちました。小学校教員の経験しかない私にとって中学校での勤務は毎日が発見の連続です。私がこの1か月で見てきた学校の姿、そして感じたこと、考えたことをお伝えしたいと思います。

小平第五中学校って

校舎の造りが複雑です。3月に面接のために来校してからもっている印象です。本校は増設を何度か行ったためにこのような造りだと聞きました。ただ利点もあって、職員室からどの場所も近い感じがします。校舎内を歩くだけで歩数が1万歩を超える日もあります。

挨拶が気持ち良いです。4月8日、生徒の登校が始まると、生徒のみなさんから気持ちの良い挨拶が聞こえてきました。朝の挨拶、すれ違う時、下校時、たくさんの挨拶が聞こえます。教員も挨拶が活発です。朝の打ち合わせ、ちょっとしたことへのお礼、それに返す言葉、退勤時の挨拶、たくさんの挨拶が溢れています。教員も生徒も互いを認め、信頼し合い、気遣い合っていることが伝わってきます。

「つなげる」こと

つなげること。これが今年度の私のテーマだと感じています。こども一人ひとりが他の生徒とつながるように、生徒と教員、互いの思いがつながるように、中学校区の学校がこれまでよりつながって、一緒にこどもの成長を見守れるように、「こどもたちのために何かしたい」と考えてくださっている方々と学校がつながっていけるように。今までのつながりに加えてつながりが増えていくことで、こどもたちにとってより安心できる場所にしたい、こどもたちや保護者の方々のためになることを実現したいと考えています。

「ほっ」とできる、「よしやろう」と思える場所にしたい。小学校1年生、大きなランドセルを背負って登校していたこどもたちが6年間で立派になって中学校へ進学します。とは言ってもこどもたちは大人になった訳ではなくて、中学校での短い3年間で、様々な経験をしながら、時には一休みしながら、さらに大きく成長します。ずっと走り続けるのではなくて、ちょっと立ち止まって「ほっ」とする、そして「よしやろう」と再び走り出す、この繰り返しが中学校生活なのだと思います。保護者の方々も、教員も同じなのではないでしょうか。学校が誰にとっても「ほっ」とできる、「よしやろう」と思える場所になるように、まずは様子を見る、そして声を掛ける、時にはそっと背中を押す、こうした意識でこどもたちにも、保護者の方々にも、教員にも接していこうと思っています。

最後に

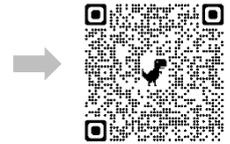
毎日学校へ行くのが楽しみで目が覚めます。こどもたちの人生に関われることが喜びです。大切なお子様をお預かりしていることをいつも意識して尽力してまいります。よろしく願いいたします。

引き渡し訓練

本日、大地震（震度5弱以上）発生時の引き渡し訓練を実施しました。ご協力をいただきありがとうございました。実際に震度5弱以上の地震が発生した場合には、学校のホームページやスクールメールで最新の情報をご確認の上、引き取りを行っていただくこととなります。その際には臨機応変な対応をお願いします。

またこの機会に、ご家庭でも実際にいくつかの場面を想定しながら、「こんな場合はこんな行動をとる」といった話合いをもち、準備をしていただくとよいです。『東京防災』をご家族で読んでみるのもおすすめです（「東京防災」と検索しインターネットで閲覧・ダウンロード可能です）

生徒へスクールメールにて引き渡し訓練のアンケートを送付しております。
ご回答へのご協力をお願いいたします。



震災時等の避難場所

小平市では地域ごとの避難所の割り振りはありません。避難が必要になった際の避難場所等、あらかじめご家庭で確認しておくことが必要です。「小平市防災マップ」等を活用してご家庭でお話いただくとよいです。

以下に小平第五中学校の学区域における避難場所を掲載します。ご参考にしてください。

いっとき避難場所（五中、一小、十二小、上宿小、小平西高校、白梅学園グランド、創価学園第1グランド、中島町公園）

地震が発生し火災等の危険があり、このままでは自分に危険が及ぶと判断した場合に公的な避難指示、または救護・救助を受けるために、一時的に避難し状況を把握できる場所です。

広域避難場所（中央公園）

火災等が拡大し、いっとき避難場所では危険であると判断される場合に輻射熱や煙を回避し、安全を確保できる場所です。

避難所（五中、一小、十二小、総合体育館、小川公民館、上宿公民館）

住居等を喪失するなど引き続き救護・救助を必要とされる場合に応急的な食料の配布等の保護を受けられる場所です。

福祉避難所（小川町一丁目・上水新町・中島各地域センター、けやきの郷 など）

福祉避難所は、要配慮者（高齢者、障がい者、難病患者、妊産婦、乳幼児等）の方々が、状況に応じた医療や介護等の必要な支援を受けられる場所です。

* 詳しくは小平市のホームページ等をご確認ください。

1 学年の教職員紹介

学年主任・7組担任 山本 哲也（数学）

1組担任 森田 愛継（体育・生活指導主任）

2組担任 榎本 歩（社会・特別支援教育コーディネーター）

3組担任 川里 尚子（国語・研究主任）

4組担任 高橋 徹（技術）

5組担任 瀧本 泰（英語）

6組担任 篠宮 健（理科）

1・2組副担任 木原 寛子（家庭）・武村 侑里香（英語）

3・4・5組副担任 木原 寛子（家庭）・山口 颯大（数学）

6・7組副担任 柏倉 かほる（音楽）